

eastspring
investments

A Prudential plc (UK) company



イーストスプリング インド投資マンスリー

2022年11月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。

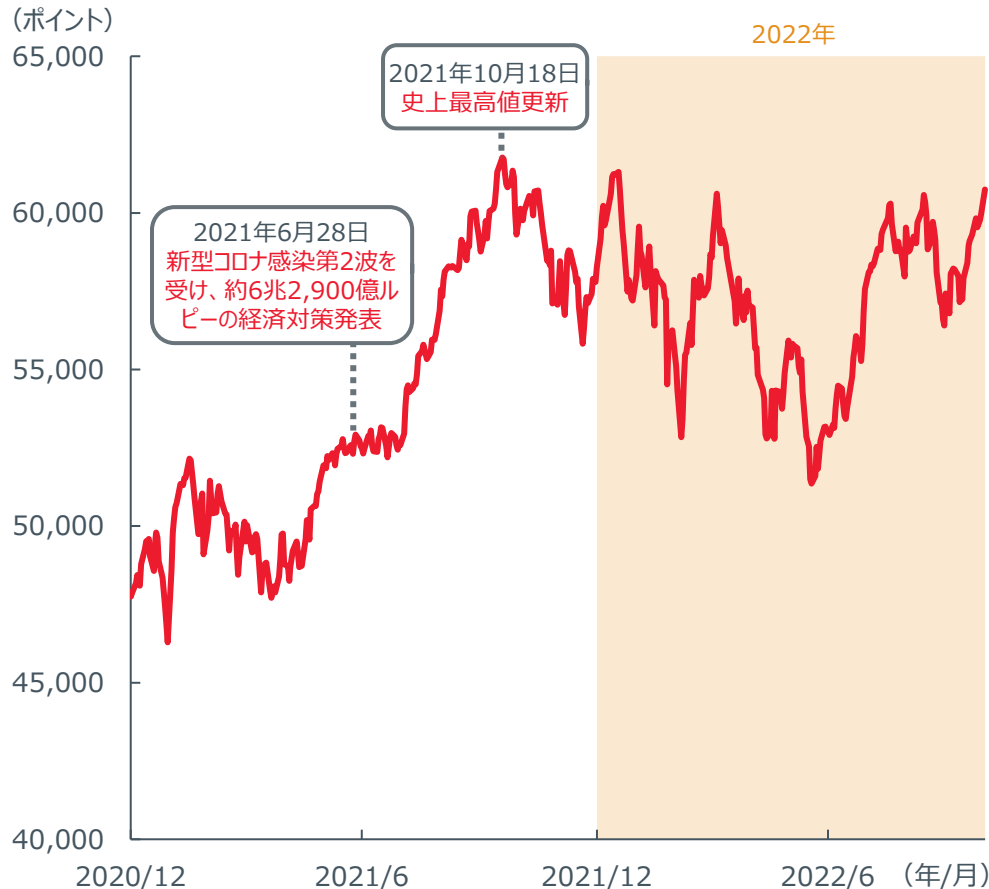
この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インド投資マンスリー
動画配信中！



株式：米国の景気後退懸念が和らいだことなどから上昇

SENSEX指数の推移 (2020年12月末～2022年10月末、日次)



2022年10月の振り返り

インド株式（SENSEX指数）は、5.8%上昇しました。

米連邦準備制度理事会（FRB）の今後の利上げペースが鈍化するとの期待が広がったことが世界的に株式市場のセンチメント改善を後押ししました。また、米国の2022年第3四半期（7-9月期）の実質GDP（国内総生産）成長率が前期比年率換算で+2.6%と3四半期ぶりのプラス成長となり、当面の景気後退懸念が和らいだことも市場のセンチメントを支えました。

セクター別では、エネルギー、情報技術、金融、一般消費財など生活必需品を除くすべてのセクターが上昇しました。

10月の売買動向では、海外機関投資家は小幅な売り越しとなる一方、国内投資信託と国内機関投資家である保険会社はともに買い越ししました。

規模別指数の期間別騰落率 (2022年10月末時点)

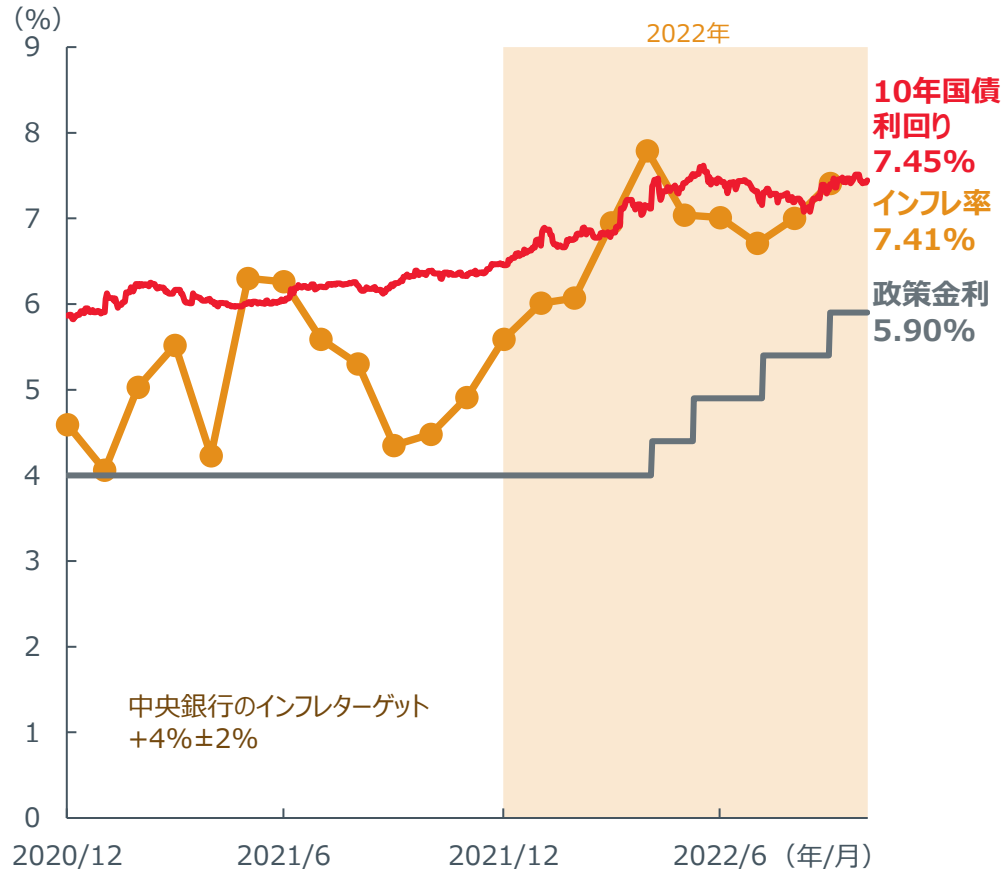
	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	5.8%	5.5%	6.5%
中型株 (BSE中型株指数)	2.0%	5.4%	3.9%
小型株 (BSE小型株指数)	1.3%	6.5%	0.7%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。

債券：インフレ率、10年債利回りともに上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2020年12月末～2022年10月末、日次)



2022年10月の振り返り

10年国債利回りは上昇（価格は低下）し、7.45%で月を終えました。

世界の現地通貨建て新興国債券指数へのインド国債の組み入れが見送られたことや原油価格の高騰、米国債利回りの上昇などが利回り上昇の主な要因でした。

12日発表の9月の消費者物価指数（インフレ率）は前年同月比+7.41%となり、インド準備銀行（RBI、中央銀行）が目標の上限とする6%を上回る状況が続いています。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2022年10月末	2022年9月末	変化幅
10年国債利回り	7.45%	7.40%	0.05%
10年社債利回り***	7.87%	7.82%	0.05%
利回り差	0.43%	0.42%	0.01%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2022年9月まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

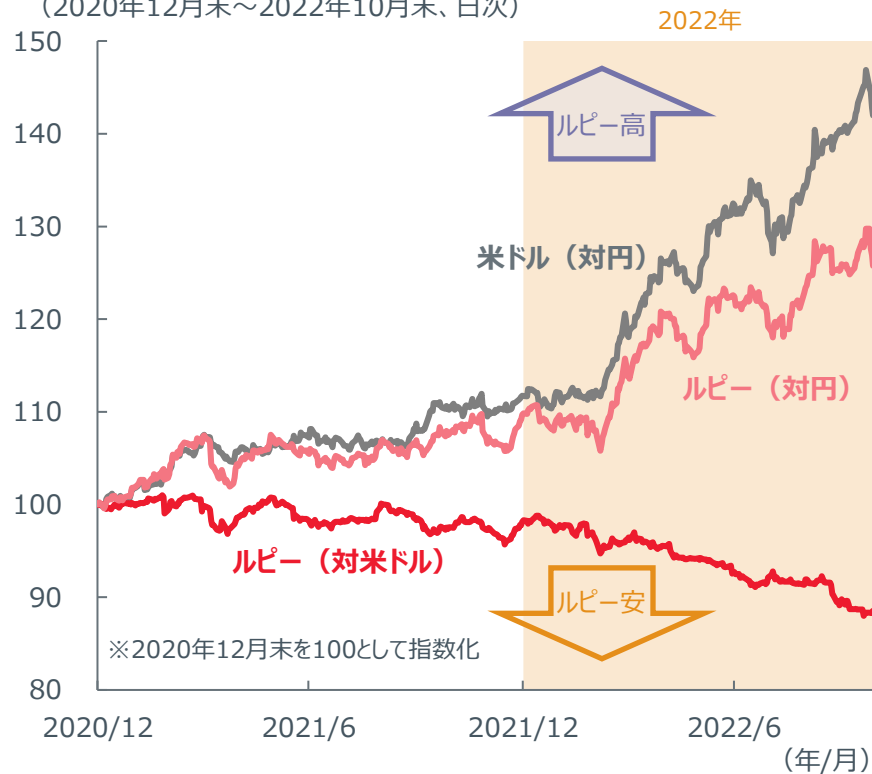
● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

為替：ルピーは対米ドルで下落、対円では上昇

- 10月のルピーは、対米ドルで1.7%の下落、対円では1.1%の上昇となりました。対米ドルでは10月下旬に最安値を更新するなど、安値圏で推移しています。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

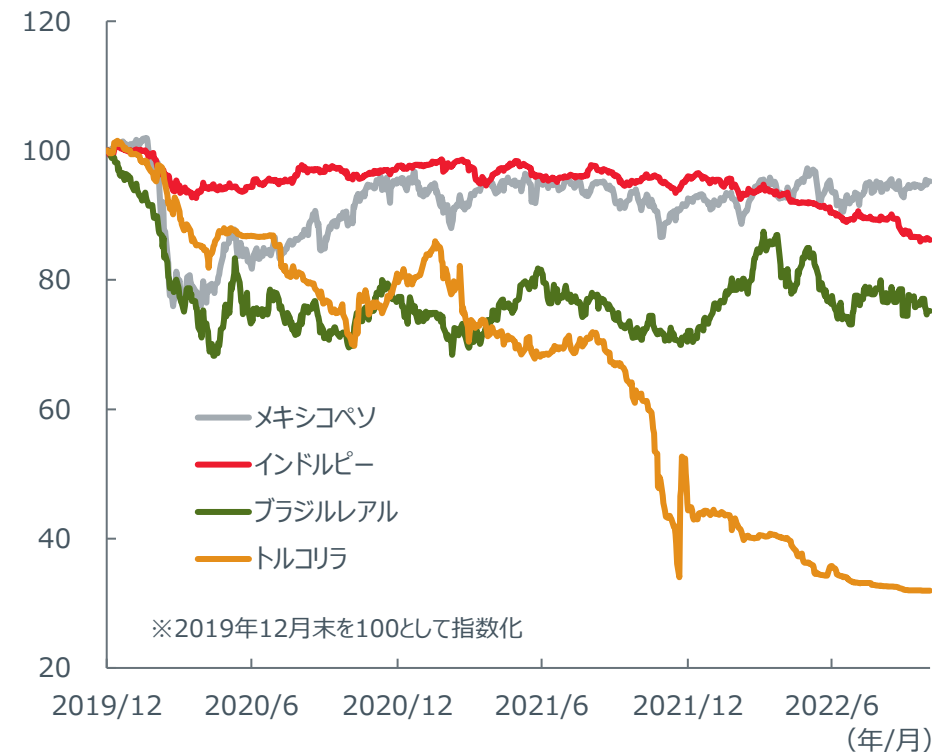
ルピー（対米ドル、対円）の推移

（2020年12月末～2022年10月末、日次）



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

（2019年12月末～2022年10月末、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

23年成長率は据え置き、27年に世界第3位の経済大国に

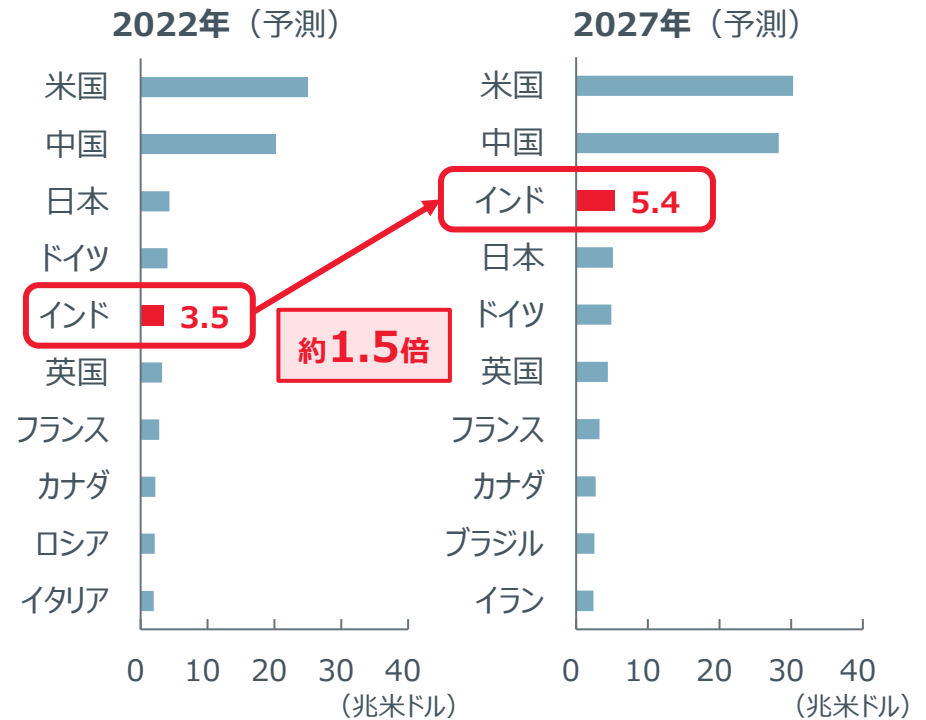
- 国際通貨基金（IMF）は2022年10月に世界経済見通しを改定しました。世界の2023年の実質GDP（国内総生産）成長率見通しが下方修正される中、インドの成長率見通しは6.1%に据え置かれました。
- 名目GDPは、2027年にはインドが日本を抜いて世界第3位になると予測されています。

主要国・地域の実質GDP成長率見通し

（単位：％、2022年および2023年）

	2022年		2023年	
	予測	前回差 (ポイント)	予測	前回差 (ポイント)
世界	3.2	-	2.7	-0.2
先進国	2.4	-0.1	1.1	-0.3
米国	1.6	-0.7	1.0	-
ユーロ圏	3.1	0.5	0.5	-0.7
日本	1.7	-	1.6	-0.1
新興国	3.7	0.1	3.7	-0.2
インド	6.8	-0.6	6.1	-
中国	3.2	-0.1	4.4	-0.2

名目GDPランキング（2022年および2027年）



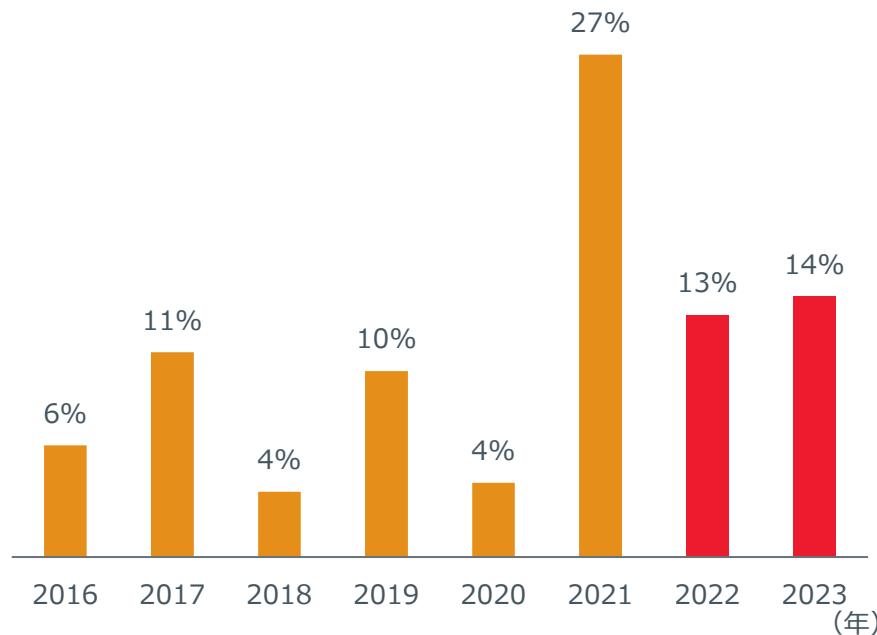
出所：IMF世界経済見通しデータベース（2022年10月）のデータに基づきイーストスプリング・インベスメンツ作成。

インド株式の利益成長率見通しは良好、金融・一般消費財などがけん引

- 米ドル高や原油価格の上昇など、短期的にはインド経済に影響を及ぼす逆風がいくつか存在するため、インド株式の利益成長率見通しは直近で下方修正されたものの、引き続き良好です。
- セクター別では金融、一般消費財、エネルギーが収益拡大をけん引すると予想されています。

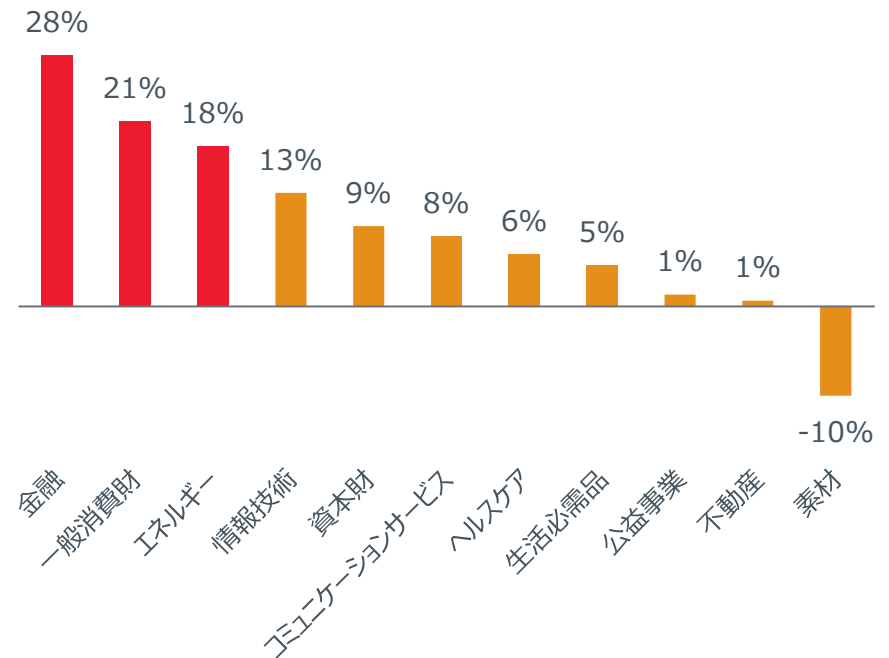
MSCIインド株式の利益成長率

(2016年～2023年、2022年以降は予想、前年比成長率)



セクター別*1株当たり利益 (EPS) 成長率予想

(2022年、2023年の前年比成長率)



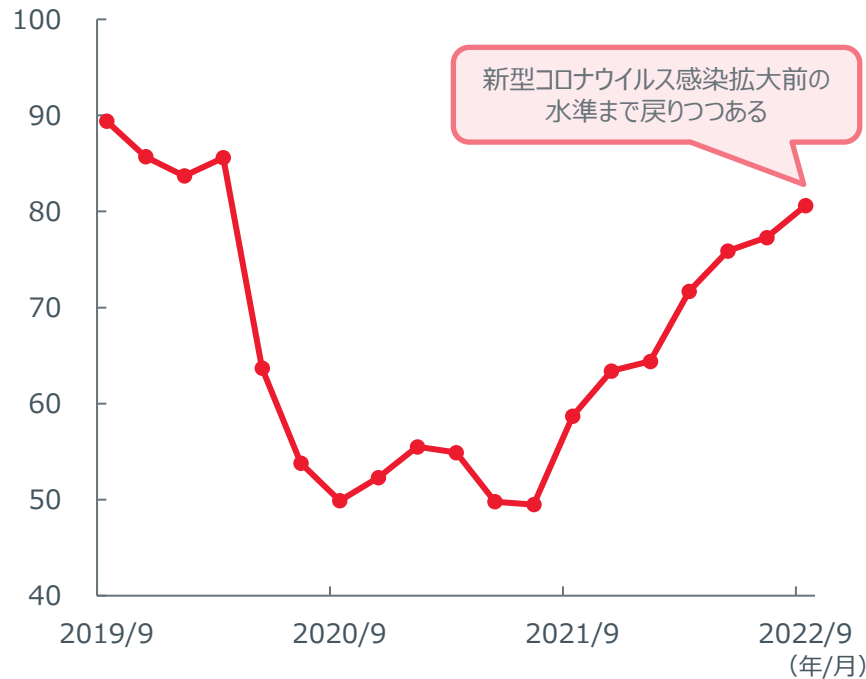
出所：ICICIAMのデータに基づきイーストスプリング・インベスメンツ作成。2022年9月時点の予想。

*セクター区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています。

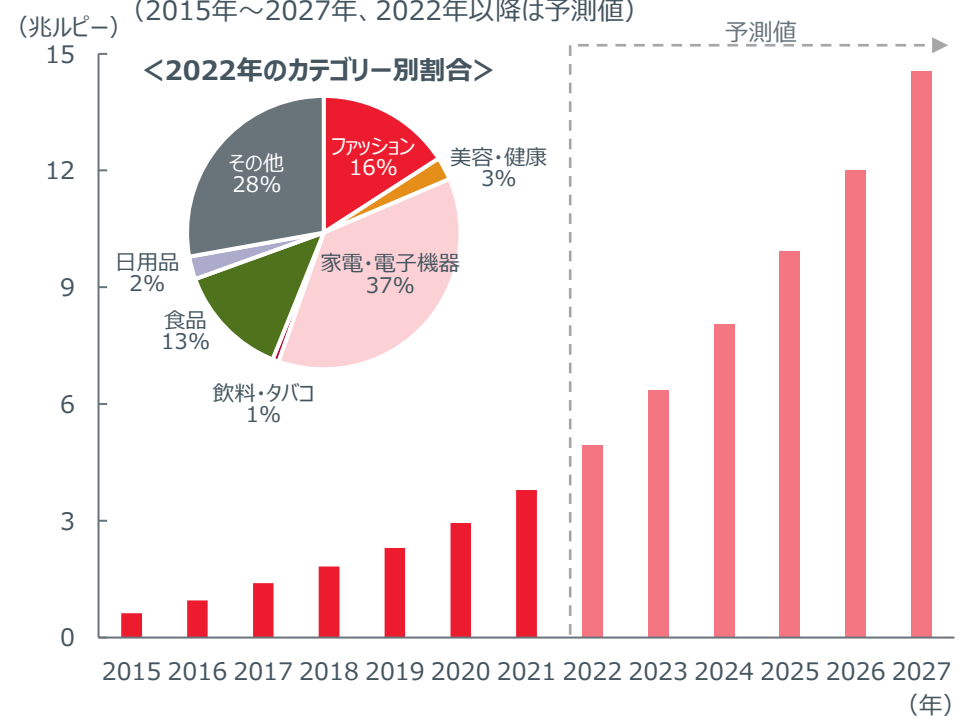
消費者信頼感指数は改善傾向、eコマース市場は拡大予想

- コロナ禍が収束し経済活動が正常化したことで、消費者マインドを表す“消費者信頼感指数”は改善傾向が続いています。
- 近年、賃金の上昇を背景とした生活水準の向上と急速なスマートフォンの普及により、eコマース市場は急拡大しており、インド経済を下支えすると期待されます。

インドの消費者信頼感指数の推移 (2019年9月～2022年9月、四半期)



インドのeコマース小売売上高の推移と内訳 (2015年～2027年、2022年以降は予測値)



出所：インド準備銀行（RBI、中央銀行）、Euromonitor International（2022年10月時点）のデータに基づきイーストスプリング・インベスメンツ作成。

インド ヒンドゥー教の祭り“ディワリ”の様子 ①

◆ インドでは10月24日、ヒンドゥー教の新年を祝うインドのお祭り「ディワリ」を迎えました。「ディワリ」は「光の祭典」とも呼ばれ、毎年10月から11月に5日間にわたって行われます。お祭りはコロナ禍により2年間控えめに行われていたこともあり、**今年はインド全土で盛大に行われました。**



▲ディワリの装飾品（ライト、キャンドル、装飾ステッカー、花など）を売る販売店。
デジタル決済も可能！



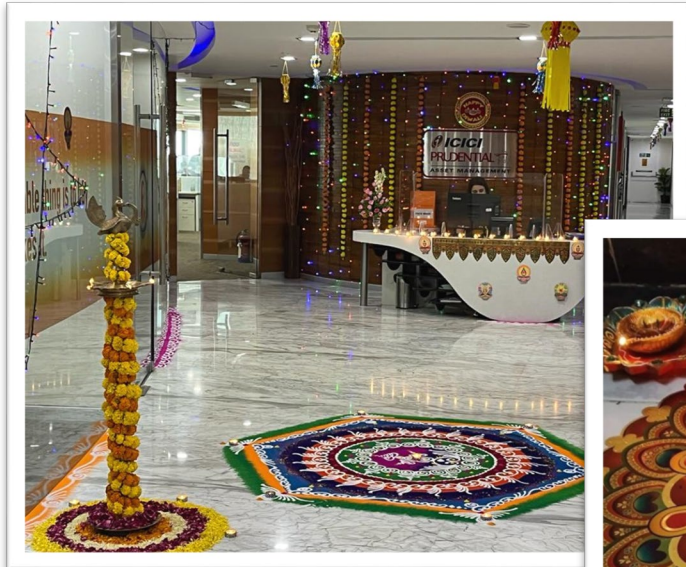
▲バルコニーはどの部屋も電飾でライトアップ！
5日間にわたるディワリ祭では神様が富と繁栄をもたらしてくれると信じられているそう。



▲金を買いに金販売店に行列をなす人々。
ディワリ初日（Dhanteras（ダンテラス）と呼ばれる）は、金を買うのにとても良い日とされている。

出所：ICICIAM、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インド ヒन्दウー教の祭り“ディワリ”の様子 ②



▲ ICICIAMのオフィスの飾り。

弊社グループのインド拠点、ICICIAMのオフィス入り口は、ライトや花、Rangoli（ランゴリー、写真右下の床のカラフルな模様）などで色鮮やかに飾られました。



▲ 撮影者（ICICIAM社員）の自宅前。

ランゴリーの上に、Diya（ディヤ、オイルランプ）を置き、飾りつけ。
家族みんなで作ったそうです。

- ◆ ディワリは別名「**光の祭典**」とも呼ばれています。この時期には祭りの数日前から自宅や職場の掃除や改修を行い、**ディヤ**や**ランゴリー**で装飾を行います。
- ◆ 服を新調したり、金のアクセサリーを買うのが縁起が良いとされており、ディワリ祭に向け、**実店舗だけでなくオンラインでもセールが開催**されました。
- ◆ ディワリ祭に向けたオンライン上の流通取引総額（GMV）は、最初の1週間で**約4,000億インドピー**（前年比**27%増**）と好調でした。

Happy Diwali

出所：ICICIAM、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※ MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※ 業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています。GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。